

ジェフロイクモザル「ライズ」の死亡について

千葉市動物公園では、昭和60年4月に開園して以来、皆様に親しまれてまいりました、ジェフロイクモザルの「ライズ」(オス)が死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡した動物について

(1) 動物種

ジェフロイクモザル オス

(2) 生年月日

昭和53年(1978年)11月4日(年齢45歳)
公益財団法人日本モンキーセンター生まれ

(3) 来園日

昭和60年(1985年)3月29日



ジェフロイクモザル「ライズ」

2 死亡日時

令和6年4月19日(金) 未明

3 死因および経緯

(1) 死因

多臓器不全等

(2) 経緯

令和6年2月14日に室内で落下したことにより骨折。一時は回復傾向であったが、その後、徐々に元気消失状態となり、投薬等の治療を行っていたところですが、4月19日未明に息を引き取り、天寿を全うしました。

4 当園でのジェフロイクモザルの飼育状況

昭和60年3月29日(開園年) モンキーゾーンで飼育を開始

今回死亡した「ライズ」を除き、現在は「ノゾミ」(オス・平成29年5月4日生まれ)と「リン」(メス・平成28年2月4日生まれ)の2頭を飼育しています。

5 国内飼育頭数

21園館 雄35頭、雌35頭、不明1頭 計71頭

(公益社団法人日本動物園水族館協会 飼育動物報告 令和6年4月13日更新)

<参考>ジェフロイクモザルについて

英名	Geoffroy's Spider Monkey
学名	<i>Ateles geoffroyi</i>
分類	霊長目(サル目) オマキザル科
生息地	中米からパナマ
体重	6～9 kg
全長	30～63 cm
尾長	50～90 cm
食べ物	果実、木の葉、花など
保護状況	IUCN レッドリスト 絶滅危惧 IB 類 EN ワシントン条約附属書 II 表

クモザル類は、腕が脚より長く、尾を5本目の手足のようにして使うことができるのが特徴です。四肢と長い尾を使って林冠部をすばやく移動します。

手の指は4本で、親指はないか、あっても痕跡程度です。尾の先端には毛がなく、指紋に相当する「尾紋」があり、感覚が鋭く、物をつかむことができます。体色は黒色、灰色、暗褐色などさまざまです。

複数の成熟したオスとメスを含む2～20頭程度の群れを作ります。その中で小集団に分かれることが頻繁にあります。妊娠期間は約8カ月で、通常1頭の子どもを産みます。